

One Osaka!
大阪維新の会
おおさかいしんのかい

めざせ! One大阪
ISHIN TIMES
維新タイムズ
Vol.3
2018年度

発行 大阪維新の会
大阪府議会議員団
<http://osaka-ishin.jp/>
〒540-8570
大阪市中央区大手前
2丁目1番22号(大阪府庁内)
TEL (06) 6946-5390
FAX (06) 6946-5391

自然災害対策に取り組む!

池下が提案 「健康づくり推進条例」が可決!!

本年は「大阪府北部を震源とする地震」や台風21号などにより高槻市、島本町でも多くの被害が発生しました。被災された皆さまには心からお見舞い申し上げます。今回の府議会では災害発生時の初期対応だけでなく、中長期的な対応についても新たな提案をさせていただきました。1日も早い復旧復興を皆さまとともに成し遂げてまいります。

大阪維新の会 大阪府議会議員

池下 卓の府政報告

いけした たく



池下が提案

「健康づくり推進条例」が成立!

人生100年といわれる時代、長生きしても病気がちであったり介護状態が長引けば医療費やご家庭の負担が大きくなってしまいます。本年2月に池下が元気で長生きできる府民を増やすために提案した「健康づくり推進条例」が大阪府議会で可決成立しました。

歯科口腔をはじめとする医療、薬の分野はもちろんのこと自主的な健康づくりを推進させるため新たな取り組みが始まります。健康づくり全般を盛り込んだ条例は全国で8番目。今後も府民の健康増進に向けて取り組んでいきます。

健活10とは....



『健活10』の「10」とは、生活習慣の改善や生活習慣病の予防等に向け、府民に取り組んでいただきたい「10の健康づくり活動」のことです。

<p>1 健康に関心をもちましょう</p>	<p>2 朝ごはん&野菜をしっかりと食べましょう</p> <p>1日に野菜 350g以上</p>	<p>3 日頃から体を動かし運動しましょう</p> <p>1日の歩数 男性 9,000歩 女性 8,000歩</p>	<p>4 ぐっすり眠り 疲れをとりましょう</p>	<p>5 ストレスとうまく付き合しましょう</p>
<p>6 お酒の飲み過ぎに注意しましょう</p> <p>1日の適量 ビール 500ml 1杯以上</p>	<p>7 たばこから自分と周囲の人を守りましょう</p>	<p>8 歯と口の健康を大切にしましょう</p> <p>毎日歯磨き 1年に1回 歯科検診</p>	<p>9 けんしん(健診・検診)を受けましょう</p> <p>がん検診</p>	<p>10 病気が見つかったらきちんと治療しましょう</p>

府政に関するご相談やお問い合わせは

大阪維新の会 大阪府議会議員 **池下 卓** 事務所

〒569-0077 高槻市野見町3-3 興喜第2ビル302号
TEL. 072-670-0410 FAX. 072-670-0411
MAIL. info@iketaku.jp HP. http://iketaku.jp

災害時のマニュアルの見直しを求める

今回の議会では、障がい者や高齢者等の災害弱者への災害時の情報提供マニュアルの見直しや、「避難行動要支援者名簿」の活用について提案をしました。

災害時に市町などからの情報が少なく困った方が多い状況でした。また、名簿の設置が市町村で義務付けられているにも関わらず安否確認が完全にできていなかった事実があります。大阪府からは今後、マニュアル等の見直し、市町村と課題解決に向けて取り組んでいく旨の答弁がありました。



大阪版被災住宅無利子融資制度の申込み期限の延長を

大阪府では「大阪府北部を震源とする地震」および台風21号で被災された家屋等に10年間無利子で貸付けを行う制度を行なっています。

しかし、人手不足等で復旧が進まない中、その申込期限は平成31年3月となっています。池下は制度と実態が異なるため申込み期限の延長を提案しました。松井知事からも適切に対応していくとの答弁もあり復旧対策を行なっていきます。

高槻市芝生町付近(平成30年9月24日現在)



山地災害対策を進める

台風21号では、高槻市の出灰(いずりは)地域や島本町の尺代地域をはじめ多くの箇所で被害が発生しました。大阪府森林環境税の期限が間近に迫るなか、山地災害対策を行うため新たな財源確保と危険箇所の再精査を求めました。大阪府からも山地災害対策の財源確保の重要性を認識、着実に対策をすすめると答弁がありました。山地だけでなく下流に住まわれる住民の皆さんの安全安心をしっかりと守っていきます。



災害復旧にむけ追加予算を求める

今回の災害では復旧がまだまだ進んでいません。本議会の一般質問で池下は大阪府へ復旧のための追加予算を計上するよう求めました。

その結果、約76億円の補正予算が成立し、今後、災害による農業被害等の復興に向けて動き出します。

池下 卓の府政報告 (つづき)

HIV、エイズなどの感染症対策について

大阪府は全国の中なかでもHIV等の罹患者数が多く、また増加傾向にあります。かつては、不治の病という認識がありましたが、現在は治療方法が確立されしっかりと治療をすれば「死なない」「感染させない」病気となりました。

しかし、新しい情報を知らなければ感染を拡大させてしまいます。保健所等においては無料、匿名で検査を行っている一方、一部クリニックでは期間限定ではあるものの500円で検査を受けることができます。

池下は松井知事へ直接の依頼と大阪府議会においても、感染を拡大させないための普及啓発と無償の検査制度の確立を要望しました。これからも感染症対策を推し進めていきます。



日本エイズ学会会長 白阪琢磨先生、松井知事と知事室にて

淀川流域を活用したサイクルルートの推進へ

近年、自転車が環境に優しい、健康に良い、交通渋滞を起こさない、災害時への活用が期待できる等の理由でその利用が注目されています。池下はこれまでも淀川の舟運事業について復活を働きかけ、それが事業化に向けて動き始めています。今回の府議会では、淀川流域を活用したサイクルルートの推進を提案しました。これからの観光戦略は単独の市町だけで戦略をたてるべきではありません。高槻市や島本町をはじめとした、地域の観光資源の「点」と「点」を「線」で結び、さらに「面」へ広げていくことが必要です。

この池下と大阪府との議論によりサイクルルートの推進へ向けて、国とは年内から協議開始。また府内の関係自治体とも早期に協議を始めることになりました。



大阪府議会9月定例会 (前半)

大阪維新の会 大阪府議会議員団の府政報告

災害復旧に130億円

松井知事提出の補正予算案が可決

大阪府北部地震、集中豪雨、台風21号の被災者等に府が支援

健康づくり推進条例を制定 全国で8番目

府民の健康教育の充実や食生活の改善などを定め、オール大阪体制による健康づくりを推進



上島政調会長



松井知事

代表質問 上島一彦 政調会長

グローバル都市としての成長とともに、 迫りくる大規模災害にも強い大阪の実現

台風21号による被害や損害に対する支援

Q 被災した中小企業等や農業施設及び農作物の被害に対する支援策について伺う。

A 中小企業等に対するセーフティネット保証の発動などを国に強く働きかけ、支援策が決定された。これに合わせ府も通常よりも低金利の新たな融資制度を創設する。また、甚大な被害を受けた農業用ハウス等の再建が喫緊の課題であることから、市町村と連携し、農家の負担軽減を図れるよう積極的に取り組む。

大阪府北部を震源とする地震を踏まえた、災害への対応

Q 民間ブロック塀の安全対策における市町村への補助制度について伺う。

A 市町村を支援するための補助制度を創設し、府内全市町村で所有者に対する除却費の補助制度の創設を促進する。また、いち早くブロック塀等の除却に取り組まれた市町村に対しても、遡及適用してまいる。

迫り来る大規模災害等への備えと対応力の強化

Q 南海トラフなどの大規模災害に備え、西日本をカバーするハイパーレスキュー機能を備えた「大阪消防庁」の設立に向け、検討の具体化を進めるべき。

A 災害が相次いで大阪を襲い、迅速な災害対応が求められる中、救命救助を担う消防機関が機動的に、広域的に活動できる体制が必要と痛感した。府内消防は、1ブロックとして「大阪消防庁」を実現できるよう努める。

成長し続けるグローバル都市・大阪

Q G20大阪サミットの開催に向けた取り組みについて伺う。

A 府民がサミットを知り、関心をもっていただくことが重要。とりわけ、若者がサミットにかかわる取り組みや、子ども達がサミットの成果や意義等を学習する機会をつくり、国際的なダイナミックな動きに関心を持ってもらうきっかけにしたい。

日本の成長エンジン都市・大阪

Q 新大阪駅につながる北陸新幹線の早期全線開業をめざし、府が先頭に立って、国への働きかけ等を、強力に推進するべき。

A 北陸新幹線は、重要な社会基盤であり、遅くともリニア開業までに新大阪駅まで一気に整備することが必要。今後も早期全線開業に向けて、関係団体とより効果的に働きかけを行えるよう、オール大阪で推進する体制の構築など、取り組みをさらに加速させる。

子どもが輝く都市・大阪

Q わが会派の提案により設置された「子ども輝く未来基金」にご寄付を頂いた府民の志を汲み取っていただき、直接、子どもたちに提供できるものに活用するべき。

A 基金は、子ども食堂における学習教材の提供や、ひとり親家庭の子どもに対するスポーツ・文化行事などの体験活動への参加支援などに活用してまいります。